

第13回壮瞥町新型コロナウイルス感染症対策本部会議 顛末要旨

と き 令和2年6月8日(月) 8:55-9:15

ところ 壮瞥町役場中会議室

■出席者 町長(本部長)、副町長、教育長(以上、副本部長)
総務課長、企画財政課長、税務会計課長、住民福祉課長、産業振興課長、商工観光課長、
建設課長、議会監査委員事務局長、農業委員会事務局長、生涯学習課長(以上、本部員)、

■議事要旨

(1) 国などの動き

- 本日から国補正予算審議が始まるので動向、支援内容等を注視する。

(2) 住民対策班

- 特別定額給付金の申請率は94%を超えた。
- 採用した臨時職員にお願いする事務があれば、他課においても積極的に依頼願う。
- 学校、保育所等へのマスク配備は完了したが、消毒液や非接触型体温計は納品時期未定の状況。

(3) 教育対策班

- 小中高校の再開後、順調に経過しているが、健康状態等は引き続き注視したい。

(4) 総務対策班

- 概ね全公共施設を再開した。残る仲洞爺キャンプ場については、近日中に方向性を出す考え。

(5) 経済対策班

(6) 今後の対応等について

- 副本部長 ・ 消毒液を求める声(事業者)や、子ども用の小型マスク(学校関係者)を求める声が寄せられている。独自で衛生対策に取り組もうとする事業者への支援、サポートについても検討されたい。
- 本部長 ・ 定額給付金通知宛名不明者、消毒液や小型マスクの入手方法、保健所の検査態勢、などについて、情報収集、分析、対応検討されたい。
・ 地域の安全性PRに向けた制度や、今後の町独自施策の第2・3弾について、ニーズ把握を踏まえて、立案検討に取り組まれない。